

ビーチサッカー関西大会における感染防止対策のガイドライン

選手、関係者が安全に活動出来る環境を作る為に、又、全員の生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最小限とする為に下記事項のガイドラインに沿ってリーグ戦を開始する。

現状、無観客での実施とします。(状況が変われば、連絡します。)

大会に参加する前に

※ 選手・審判・役員等は、各個人の健康チェックリスト（試合の2週間前から当日までの検温）を取りまとめのうえ、提出すること。

以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。

- 1) 体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常など）
- 2) 新型コロナウイルス感染症要請とされた方との濃厚接触
- 3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 4) 過去14日以内に政府から入国規制、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

大会当日

- 1 チーム責任者は、当日参加の選手役員の当日の検温した体温などを記入し提出する事。（別紙）
- 2 マスク等口を覆うものを持参し、選手、役員、関係者は試合時以外では常に着用してください。
- 3 試合前後、並びにお手洗い後のこまめな手洗い、消毒液やアルコールによる手指消毒を行って下さい。
- 4 試合以外では、可能な限り他の選手、関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保してください。
- 5 大きな声で会話をしないようにお願いします。
- 6 試合終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟まで連絡し速やかに濃厚接触者の有無について報告してください。

更衣室の利用（各施設側の指針を参考にする事）

- 1 更衣室、シャワーは利用可能な場合、密を避ける為、一度に多くの人が入る事は厳禁。
利用に際しては、4人～5人とし更衣が終われば速やかに退出し交代で利用。
尚、更衣室の中でも出来る限りマスクを着用し会話は慎む。ミーティング、飲食は不可
シャワーの利用も同様に交代で使用し密を避ける
- 2 更衣室で出たゴミは、各自責任を持って持ち帰る事。

MCM（マッチコーデションミーティング）

- 1 密とならない場所で実施（各会場にて案内します）

- 2 必ずマスク着用をして出席する事。
- 3 出席者は極力最小限とし、MC1名、チーム責任者1名、審判1名、運営1名にて簡潔に行う
- 4 MCM終了後の握手等は禁止

試合中に関して

- 1 試合前後の相手チーム、審判団への握手は実施しない
- 2 円陣はしない。
- 3 倒れた選手に手を貸さない。(担架を必要とする場合は別)
- 4 得点時やフアインプレー時等における、ハイタッチ、抱擁は行わない。
- 5 ピッチ内では唾吐きは禁止にします。
- 6 交代時のビブス受け渡しはしない。(自分のビブスの徹底をする事)
- 7 ベンチでの密を避ける為、ベンチは互い違いに2列にする
- 8 飲料水の回し飲みは厳禁。出来る限り飲料水は個人の使用とする。
- 9 ベンチ及びアップ場所での会話は控える(大きな声で激を飛ばさない)
- 10 ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際においてもお互いの距離について配慮する。
- 11 試合前の集合写真の撮影はしない。
- 12 第3・TK、記録スタッフ、ボールパーソンは試合中必ずマスクを着用する。
- 13 コイントスの際も十分な距離を確保する。
- 14 タオルは共有せず個人用を準備する

審判員

- 1 マスクを着用し会話を最小限に留める。
- 2 事前打合せや試合後の打合せについては、密集にならないよう一定の距離(2m)を置いて実施する事。
- 3 控室は運営と同場所になる事も予想されます。会話は控えるように。
- 4 シャワーを利用する場合は、交代で使用し密集を避ける

ゴミの廃棄について

- 1 チーム又は個人にて必ず回収し持ち帰る事。
- 2 ゴミ袋は各チームにて準備する事。
- 3 ゴミを収集する際は、マスクや手袋を着用の上、密閉して縛り廃棄し、終了後は手洗い、消毒をするように心がける。

喫煙に関して

- 1 喫煙場所が設置されている会場では、喫煙場所が密になる事から注意する事。
喫煙をする場合は、一定の距離を取り会話は控える事。
- 2 出来れば禁煙が望ましい。

その他

- 1 試合会場への交通手段については、乗り合いで来る場合、密にならないようチームで検討して下さい。
- 2 公共交通機関で来る場合は、到着後すぐに手洗い・うがい・消毒などを行って下さい。